

## 植物多様性センターの「コチャルメルソウの発芽」

ユキノシタ科の多年草コチャルメルソウは、山地の溪谷沿いによく見られる植物です。花の形がユニークなことから、比較的覚えやすい植物でもあります。学習園では奥多摩ゾーンに何度か植栽していますが、夏の高温と乾燥で、なかなか大きく育ちません。そこで、種子をまいて鉢で苗をつくることにしました。今回はその途中報告です。



花:ウーパールーパーのエラのような平面的な不思議な花



人工授粉で膨らみ始めた果実:先端が唇のように開いた



種子:1mm弱の種子が熟すと、果実は完全に開く



発芽:採り播き後、わずか1週間ほどで発芽が始まった